

冷戦と朝鮮戦争

1 / 1

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

戦後の世界は二つの陣営に分かれ、アジアではどんな戦争が起こったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 冷戦の始まり

東西の対立

西側陣営

アメリカを中心とする資本主義の国々。

東側陣営

ソ連を中心とする社会主義の国々。

中華人民共和国

1949年に成立した、共産党が治める中国。

戦後、アメリカを中心とする資本主義の**西側陣営**と、ソ連を中心とする社会主義の**東側陣営**が対立した。西側は1949年に軍事同盟の**北大西洋条約機構**(NATO)をつくり、東側は1955年に**ワルシャワ条約機構**を結んで対抗した。アメリカは1947年、共産主義をふうじこめる方針を示し、西ヨーロッパの経済復興を助けるマーシャル・プランも発表した。ドイツは1949年に東西二つの国に分かれ、ベルリンも東西に分断された。

アジアでは、中国で国民党と共産党の内戦が続いたすえ、1949年に共産党の毛沢東が**中華人民共和国**の成立を宣言した。敗れた国民党の政府は**台湾**にのこられた。

ソ連は1949年に原子爆弾の保有を発表し、米ソは核兵器をふくむ軍備を競うようになった。

陣営	中心の国	軍事同盟
西側	アメリカ	北大西洋条約機構
東側	ソ連	ワルシャワ条約機構

2 朝鮮戦争と日本

戦争と特需

朝鮮戦争

1950年に南北の朝鮮の間で始まった戦争。

特需

アメリカ軍向けの物資やサービスの注文。

警察予備隊

1950年につくられた、自衛隊のもとになる組織。

朝鮮半島は戦後、北緯38度線を境に、北にソ連軍、南にアメリカ軍が入った。1948年、南に**大韓民国**(韓国)、北に**朝鮮民主主義人民共和国**(北朝鮮)が成立した。1950年、北朝鮮軍が南に攻めこんで**朝鮮戦争**が始まった。韓国はアメリカ軍を中心とする国連軍が、北朝鮮は中国の義勇軍が助け、1953年に休戦となった。休戦後も南北は分かれたままで、軍事境界線をはさんだ対立が続いている。

アメリカ軍は日本の基地から朝鮮へ出撃し、日本ではアメリカ軍向けの物資やサービスの大量の注文(**特需**)が生まれ、好景気となった(特需景気)。また、アメリカ軍が朝鮮に出動したあとの日本の治安を守るために**警察予備隊**がつくられた。のちに保安隊を経て、1954年に**自衛隊**となった。

1956年の経済白書は「もはや戦後ではない」と記し、特需などで日本の復興が進んだことを示した。

問いへの答え

戦後の世界は、アメリカ中心の西側陣営とソ連中心の東側陣営に分かれて対立し、それぞれが軍事同盟を結んだ。アジアでは中華人民共和国が成立し、1950年には朝鮮戦争が始まった。日本は特需で好景気となり、警察予備隊がつくられて、のちの自衛隊につながった。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

